

タブレット端末利活用検討会中間報告書

平成29年2月17日

宇都宮市議会議長 渡辺道仁様

タブレット端末利活用検討会
会長 櫻井啓一

本検討会は、平成27年6月より、タブレット端末の利活用について検討を進めてきたところでありますが、このたび中間報告をとりまとめましたので、その経過と結果について次のとおり報告いたします。

委 員 名 簿

(平成29年2月17日現在)

会 長	櫻 井 啓 一
副 会 長	今 井 政 範
委 員	佐々木 均
同	久保井 永 三
同	小 平 美智雄
同	村 田 雅 彦
同	馬 上 剛
同	福 田 久美子

目 次

I	検討の経過	-----	1
	1	検討会の開会（平成28年7月の第3次中間答申以降）	
	(1)	第11回検討会から第13回検討会まで	
II	報 告	-----	2
	1	ペーパーレス会議の試行について	----- 2
	2	今後のペーパーレス会議に向けて	----- 3
	(1)	ペーパーレス会議の試行について	
	(2)	タブレット端末利活用検討会について	
	(3)	議員のスキル向上について	
III	む す び	-----	4

I 検討の経過

1 検討会の開会（平成28年7月の第3次中間答申以降）

（1） 第11回検討会（平成28年9月16日）

ア ペーパーレス会議の検証実験を行った。

（2） 第12回検討会（平成29年2月2日）

ア ペーパーレス会議の試行結果について意見交換を行った。

イ ペーパーレス会議の検証実験を行った。

（3） 第13回委員会（平成29年2月14日）

ア ペーパーレス会議の試行結果について確認した。

イ 中間報告書（案）について、取りまとめを行った。

II 報 告

1 ペーパーレス会議の試行結果について

本検討会における、第3次中間答申に基づき試行したペーパーレス会議については、会議資料の小さい文字を拡大できることや、写真などのカラー資料を閲覧するためのツールとしては有効であった。また、タブレット端末の操作に慣れれば、更なるペーパーレスにも寄与することが明らかになった。

一方で、下表のとおりタブレット端末を会議で使用するることによる課題も明らかになったことから、今後、更なるタブレット端末の利活用に向けて、課題の解決に取り組む必要がある。

課 題	検討内容
<p>事前準備について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 進行が遅れないように事前に資料を確認して準備をしておく必要がある。・ 紙の資料とタブレットのページ数を合わせないと説明箇所が不明確である。	<ul style="list-style-type: none">・ 委員長の操作の習熟度によって、進行具合も変わるのではないか。・ 機内モードだと会議での使用が難しい。・ 通信機能が使えれば通知機能を使用すれば良いのではないか。・ 表題の付け方を工夫してはどうか。・ ページ数は運用のやり方で解決するのではないか。
<p>操作性・機能性について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2つの資料が同時に開けない。・ 拡大して内容を確認しているとスワイプがうまく操作できない。・ 全体が見えなくて判断が遅れてしまう時がある。・ 資料をすぐに開けないと会議についていけずペーパーレス会議は難しい。・ 不慣れな議員だと議論に参加できない。・ タブレットへの書き込みは現実的ではなく、メモ用紙が必要である。	<ul style="list-style-type: none">・ スムーズに使用するには、使用して習熟度を上げるしかない。・ 資料を1つのPDFにまとめて、しおりを付ければ良いのではないか。・ 使用しないと慣れないので、会派内などで、なるべく使用するべきである。・ 全体のスキルを上げる必要がある。・ メモができないと会議での使用は難しい。

<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や会派で、もう少し使いこなせる様な研修が必要である。 ・全議員が問題なく使用するには時間がかかることが予想される。 ・ペーパーが必要なものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作になれるための研修会を開催すべきであり、習熟度別であれば好ましい。 ・すべてをタブレットで行うのは不可能なので、紙との使い分けが必要である。
--	--

2 今後のペーパーレス会議に向けて

(1) ペーパーレス会議の試行について

第3次中間答申における、タブレット端末利活用検討会と広報広聴委員会でのペーパーレス会議の試行期間は平成29年3月までとされているが、タブレット端末の操作に慣れるためにも、今任期中はさらに、引き続き試行を継続していく。

(2) タブレット端末利活用検討会について

本検討会においては、タブレット端末の利活用について、タブレット機能を使用した会議の有効性の研究や、他市議会での導入後の検証なども踏まえ、試行会議以外での使用を視野に含め、引き続き慎重に検討を重ねていく。

(3) 議員のスキル向上について

議員自身がタブレット端末の操作に慣れる必要があることから、会派内で実施される会議などの場で使用することや、必要に応じた研修を実施するなど、議員個々のスキル向上に積極的に取り組んでいくことが望ましい。

Ⅲ む す び

本市議会においては、平成27年12月にタブレット端末を導入して以来、議会内の情報伝達や執行部からの情報提供、各種資料の閲覧を行うためのツールとして使用し、情報伝達の速達性の向上や、ペーパーレスに寄与してきたところであり、今後、各議員がタブレット端末の操作のスキル向上に努め、より効果的にタブレット端末の利活用が推進される必要がある。

今後は、平成27年7月の第1次中間答申において示したとおり、タブレット端末の利活用の推進だけでなく、全国的な議会ICT化の状況等を勘案し、本市議会ICT化の方向性を含め検討を進めていく。